社会科教育講座の紹介

1学年につき学生32-36人、教員9人の大所帯です

- 初年次セミナー（1年生）
- 専門科目（必修科目）・・・・・講座全体で受講
- 専門科目（演習科目等）（3～4年生）
- 卒業研究

教員一覧：氏名、及び専門分野

田澤　晴子　准教授（日本近現代史）
辻本　諭　准教授（西洋近世、近代史）
大関　泰宏　教授（人文地理学、地理教育）
橋本　操 准教授（地誌学、環境地理学、GIS）
坂内　栄夫　教授（中国思想史）
須本　良夫　教授（社会科教育学）
田中　伸　准教授（社会科教育学）
坂本　一也　教授（法律学、国際法学）
上野　友也　准教授（政治学、国際政治学）

社会科教育講座の教員・開設科目・卒業研究例

卒業研究は学生が主役！各自が好きなテーマを選び研究を行います

	日本史〔近現代〕（田澤晴子）	西洋史（辻本諭）
	日本史I, II 日本史基礎研究I, II, III 日本文化史	西洋史I, II 西洋史基礎研究I, II, III

- 「メディアとしての浮世絵」
- 「フランス革命の原因と展開―ルイ16世の及ぼした影響に着目して」

人文地理学・地理教育（大関泰宏）	地誌学・環境地理（橋本操）
人文地理学I 社会科教育法II，地理歴史科教育法I 地理学野外実習II 人文地理学基礎演習，人文地理学演習I，II	地誌学I，II 地理学実験 地理学野外実習I 地誌学基礎演習，地誌学演習I，II

- 「まなざしの変化から「発見」される観光資源―郡上八幡城を事例として」
- 「郊外住宅地における高齢者居住の地域差―岐阜県可児市の事例」

東洋哲学（坂内栄夫）	社会科・生活科教育（須本良夫）	法律学（坂本一也）
哲学I，II 東洋哲学研究I，II，III 東洋文化史 公民科教育法I	社会科教育概論 社会科教育研究I，II 生活科教育法	法律学I，II 法律学研究I，II，III 日本国憲法
政治学（上野友也）	**公民科教育（田中伸）**	
政治学、国際政治学 政治学研究I，II，III	社会科授業実践論 公民教育研究I，II，III 社会科教育法I，IV 公民科教育法II	

- 「『曇子』について」
- 「批判的思考力における「反省性」の基礎を養う社会科授業デザイン」
- 「テロを生み出す社会構造―テロの歴史的展開から考える」
- 「明知鉄道の存続と意義」
- 「社会参画力の育成を目指す初等社会科授業の創造」
- 「途上国の教育開発―カンボジアにおける教育の質の改善に向けて」

社会科教育講座の学び

オールラウンドな知識と幅広い視野を身につけます

・講義・演習・学生室

地誌学I（1年次）

政治学（2年次）

日本史基礎研究I（3年次）

経済学研究II（4年次）

たくさんの仲間とともに4年間を過ごします

学生控室（4年次、大学院）

セミナーでは専門性をとことん追求します みんなで議論しよう

・学外研修

市内から県外までいろいろな所に出かけています

法律学研究II（3年次）
水俣病歴史考証館

日本史基礎研究IV（3年次）
郡上八幡城

研究対象に直に触れることの大切さを学びます

地理学野外実習I （2年次） 日間賀島

学生どうしや教員との絆を深めます

・市・県・附属学校と連携した教育への取り組み（授業外活動）

- 幅広い教養
- 教科の専門性
- 教育実践力
- チャレンジ精神

自分たちで教材を作ってみよう 授業をしてみよう

「小・中の政治学習を考えるプロジェクト」《選挙について考えよう》
上：小学校教材の作成（岐阜市と連携）　下：中学校教材の作成と実践（岐阜県と連携）